取扱説明書番号 M358-SXXY

Small World

電波時計 （報時付掛時計） 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- ●標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- ●毎正時にメロディを奏で、文字板内が回転します
- ●暗くなると報時が自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4MN499」をお伝えください。

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。　(Y1012)

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

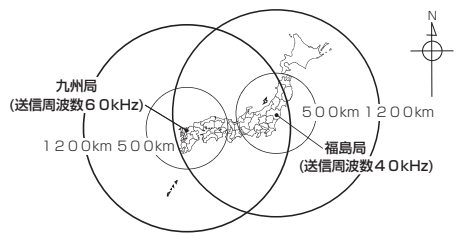
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をＯＦＦにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

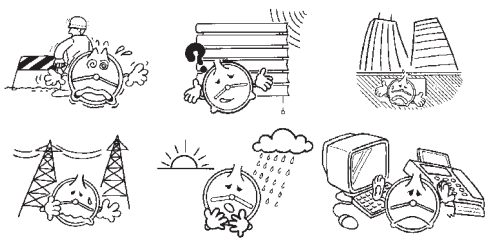


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●ビルの地下など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品やOA機器の近く
- ●スチール机等の金属製家具の上や近く



安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意 「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止 してはいけない「**禁止**」内容です。

強制 必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が＋50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が－10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- ●浴室など湿気が多い所。
- ●ほこりが多く発生する所。
- ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- ●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。
- ●電池を取り外してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～50℃　＊結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 時分針 目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒（常温中のクオーツ精度）
報時精度	表示時刻に対して ±1秒
使用電池	単1形マンガン乾電池 JIS 規格 R20P　４個
電池寿命	約1年 標準電波の受信に成功し、報時を音量最大で17回／日行ったとき
報時機能	毎正時にメロディを奏で、同時に文字板が回転
ON/OFF	スイッチ切り替え
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止
メロディ	全30曲　分類３群　スイッチ選択方式
音量調節	ロータリー式ボリューム
モニター	メロディの試聴可能
電池交換時期お知らせ機能	電池ランプが２秒に1回点滅
展示モード	文字板が展開した状態になる
回転飾り	装飾用
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局／九州局　自動選択
受信ON/OFF	ボタン操作
受信回数	最少　1日1回　最多　1日6回
電波サーチ	あり

自動受信について
受信状態により、受信回数は変化します。
受信開始時刻
２時１６分２０秒　３時１６分２０秒
４時１６分２０秒　１２時１６分２０秒
１３時１６分２０秒　１４時１６分２０秒
＊２時１６分２０秒は必ず受信を行う。

- ●アルカリ乾電池を使用することができますが、マンガン乾電池と混ぜて使用をしないでください。
- ●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品
単1形マンガン乾電池 4個　木ねじ　1個　取扱説明書　本書　保証書　1 枚

電池のご注意 （電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かないところに置く 。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- ●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
- ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- ●電池を充電しない。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池をショートさせない。
- ●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 **電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 **もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

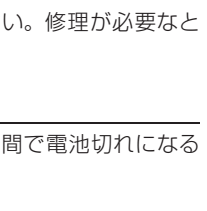
㊟ 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、電池ランプが2秒に1回赤く点滅します。電池ランプが点滅したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。電池ランプが点滅した状態で放置すると、報時したときや受信して時刻を修正するときに、針が早送り状態になることがあります。また、電池からの液もれの原因となりますので、必ず新しい電池に交換するか電池を取り出してください。

◆ 電池の交換　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

注意
- **●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。**
- **●時計が動いていても 1 年に1回定期的に交換する。**
- **●古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。**
- **●電池の⊕⊖を逆に入れない。**



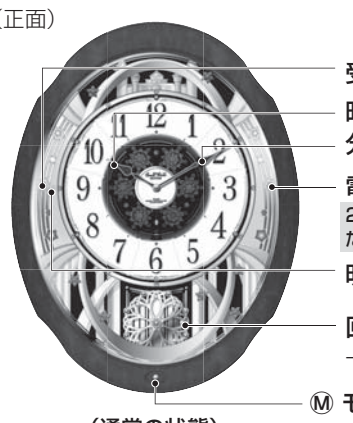
静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには強制受信ボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

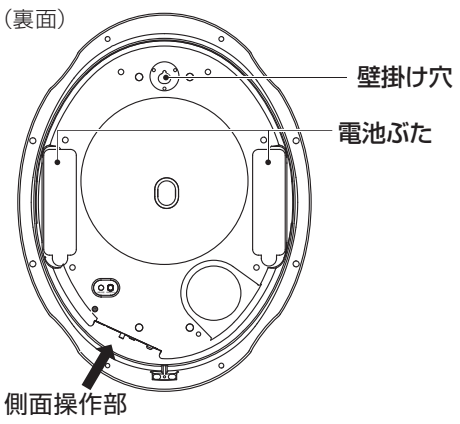
（正面）



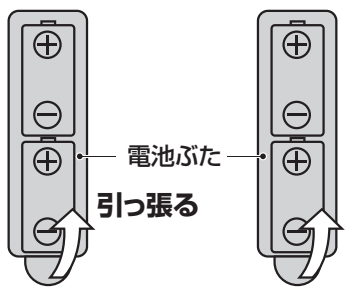
（通常の状態）

※電池ランプについては、
裏面の Ⓔ 電池の交換時期お知らせ機能 参照。

（裏面）

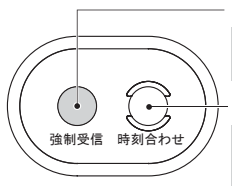


〈電池の入れ方〉❷



①電池ぶたを引っ張って取り外す
②単1形マンガン乾電池4個を電池ホルダーの⊕⊖表示合わせて入れる。
③電池ぶたを押し込んで取り付ける。

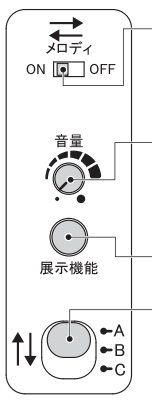
〈裏面操作部〉



強制受信ボタン ❸
電池を入れた直後や意図的に受信を開始させるときに押します。

時刻合わせボタン
受信できないときに手動で時刻を合わせるときに使用します。
不用意に押すと時刻が変わります。

〈側面操作部〉



Ⓗ 報時スイッチ ❶
ON ：報時する
OFF ：報時しない

Ⓥ ボリューム ❶
↺：**小さく**なる
↻：**大きく**なる

Ⓓ 展示ボタン

Ⓢ 選択スイッチ
A：CLASSICS
クラシック音楽
B：POPULAR
ポピュラー音楽
C：CHRISTMAS SONGS
クリスマス・ソング

報時するときの動きについて

〔展開〕

メロディとともに、文字板が回転し、正面に配置された6つのランプが点滅します。

文字板の動き
○動いている時間とメロディが鳴っている時間は一致しません。
○電池を入れたときに動くことがありますが、故障ではありません。

針の動き……通常の時刻表示
時針・分針　：10秒に1回動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

展示機能について

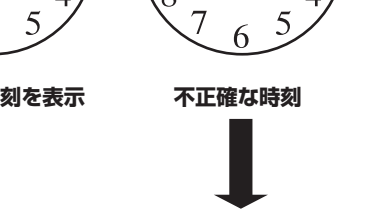
Ⓓ展示ボタンを押すと、〔展開〕の図の状態になります。再度展示ボタンを押すと閉じます。
※報時しているときは、展示ボタンを押しても機能しません。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合
▶受信表示ランプの消灯
▶報時と報時のときの文字板の動きを停止
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使い方

② **強制受信ボタンを押す**



針は4：00、8：00、12：00のいずれかで停止します。

電波サーチ

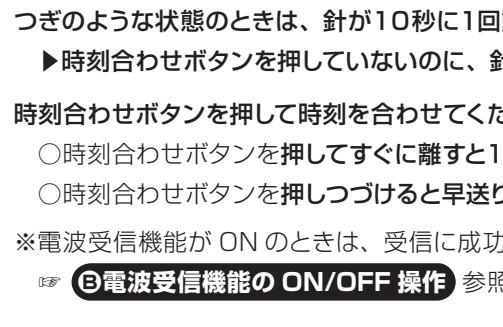
③ **受信局を表示**

4回点滅	6回点滅	消灯したまま
福島局（40kHz）	九州局（60kHz）	受信できない → ①からやり直す

④ 電波の状態を表示

点灯	消灯
良好	受信できない

⑤ **受信開始から最長16分後**
受信が終わると、針が動き出します。



正しい時刻を表示　**不正確な時刻**

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4:00、8:00、12：00のいずれかの時刻に停止します。
③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
④ 電波の状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する
○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いため、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
⑤ 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯
Ⓐ 標準電波を受信できない場合 へ

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
つぎのような状態のときは、針が10秒に1回動くようになってから操作してください。
▶時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いている。

時刻合わせボタンを押して時刻を合わせてください。
○時刻合わせボタンを**押してすぐに離すと1分進みます。**
○時刻合わせボタンを**押しつづけると早送りで動きます。**
※電波受信機能が ON のときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ Ⓑ電波受信機能の ON/OFF 操作 参照。

使用方法　電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

❶ **報時スイッチをOFFにし、音量を最小にする**
報時スイッチがONのときに電池を入れるとメロディが鳴ることがあります。

❷ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形マンガン乾電池を入れる**
〈**電池の入れ方**〉参照。
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

❸ **強制受信ボタンを押す** **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方** 参照
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。また、**針は**4時、8時、12時のいずれかの時刻で**受信が終わるまで停止します。**
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタンの操作をしないでください。

❹ **時計を掛ける**
時計の掛け方 に従い、時計を確実に掛けてください。

❺ **受信結果を確認する**
受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すか、**Ⓐ 標準電波を受信できない場合** を参照してください。

■ 報時の設定

報時は、毎正時にランプが点滅しながらメロディを1曲奏でます。お好みに合わせて報時機能を設定してください。メロディは報時するたびに曲目が変わります。

Ⓗ報時スイッチ
ON　：毎正時にメロディを1曲奏でます。
OFF　：報時しません。
※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると報時をしなくなります。→ **明暗センサーのはたらき** 参照

Ⓢ選択スイッチ
報時するメロディの種類を選択してください。
曲目は、時計裏面に表示してあります。

Ⓥボリューム　（音量の調節）
メロディの音量を調節できます。モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。

Ⓜモニター　（メロディの試聴）
モニターボタンを押すと、メロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。
○選択スイッチで選択された種類のメロディを奏でます。
○つぎの正時には、モニターしたメロディのつぎのメロディを奏でます。
※時刻ごとにメロディを固定することはできません。
※曲順を変えることはできません。
※時刻合わせボタンを操作して正時、例えば10時に合わせても報時をしません。

時計の掛け方

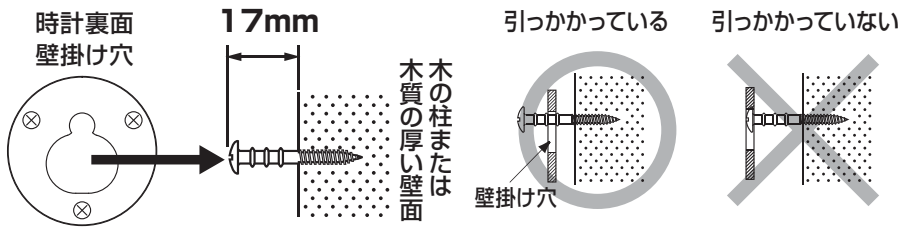
掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○**掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。**

注意
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

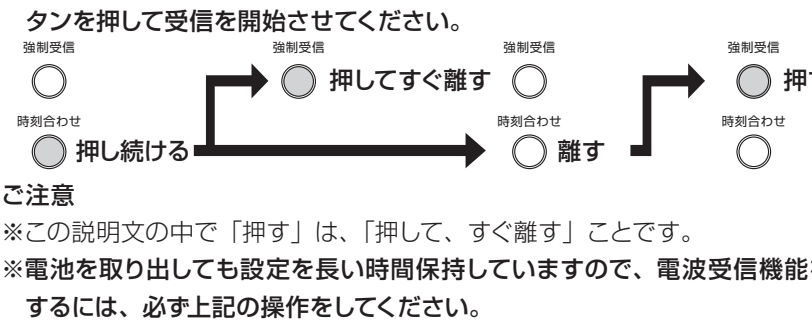
●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

時計を垂直に掛けてください



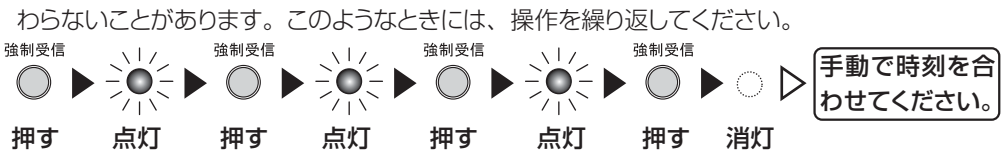
動きが乱れたり、止まることがあります。

Ⓑ 標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。
電波受信機能がOFFの状態からONの状態にするには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。